

株式会社 矢板建築設計研究所

特別養護老人ホーム 紫水苑新館 (埼玉県川口市)

光豊かな居室を実現する 従来型3人床の試み

ここがポイント！

- 特別養護老人ホームの増築計画
- 全てのベッドを明るくする従来型3人床ユニット
- 中庭を囲んだ、広がりのある空間構成
- パーチ積層合板で統一された、木の温もりのある室内



中庭を介してターミナルケアを考慮したゲスト棟を見る



前室から居室を見る 廊下から少し奥まり、プライバシーが確保されている



西側外観 採光に配慮し、居室棟が3棟に分節されている※



1階食堂 中庭を囲んで、食堂、談話コーナー、居室棟への廊下が配置されている



扉や手摺など、手に触れる箇所は、特注のパーチ積層合板で制作した



中庭から食堂方向を見た夜景※

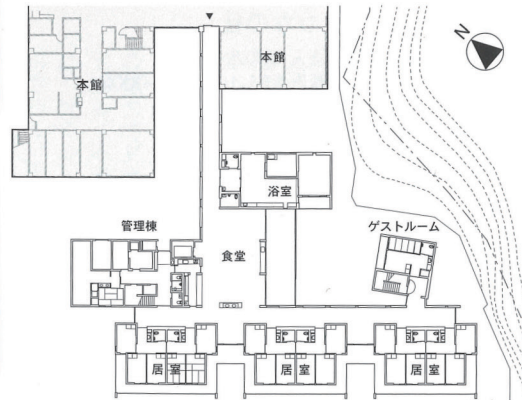
※撮影：平井広行

特別養護老人ホーム 紫水苑新館

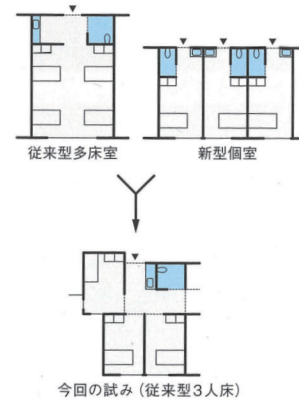
事業主 水梅会
 埼玉県川口市大字石神1560-1 〒333-0823
 埼玉高速鉄道・戸塚安行 徒歩15分
 TEL 048-294-8996
 URL <http://www.mizuumekai.or.jp>
 類型 特別養護老人ホーム
 敷地面積 7,099.56㎡ 延床面積 1,946.15㎡
 構造規模 鉄筋コンクリート造・地上2階
 居室数 36室(一般16.7㎡)

株式会社 矢板建築設計研究所

東京都渋谷区神宮前3-42-8-402 〒150-0001
 TEL 03-5775-7217
 FAX 03-5775-7218
 URL <http://www.yaita-associates.com>



1階平面図



今回の試み(従来型3人床)

敷地は宅地開発が進みつつある市街化調整区域にあり、緑豊かな雑木林に囲まれたところである。現在、国が主導する特別養護老人ホームは、トイレ付きの個室を中心とした新型特養であるが、従来型で1999年に竣工した既存本館への増築計画であったため、ケア体制の連携と地域事情を踏まえ、共用トイレの従来型多床室で展開することが選択された。

ここで問題となったのが、従来型多床室では、廊下側に日の射さないベッドができてしまうことであった。これを解決するため、トイレと洗面は共有ではあるが居室を間仕切ることで個室化して、3室まとめたユニットを単位とする居室ユニットを考えてみた。これを「3人床ユニット」と名付けた。この3人床ユニットを二単位組み合わせた居室棟を、中庭を介して配置することで、全てのベッドに光を入れることができるようになった。

そして各ユニットの入り口は住宅の玄関の様に設えた。この結果、各居室の入り口は玄関を入った奥に配置されることとなり、光溢れる居室でありながら、プライバシーの保たれた居住空間を実現することができた。

オーナーの ための 高齢者施設 ガイドブック

